



# 新座中だより

学校教育目標

**強く 明るく 考える**

〒352-0011 埼玉県新座市野火止二丁目4番1号

電話(048)478-3668 FAX(048)482-0131

新座市立新座中学校

令和3年度7月号



## 主体性が生まれる環境を

校長 高橋 利明

再延長された「まん延防止等重点措置」の実施期間が7月11日で解除されるのかどうか、現時点では分かりませんが、このような先行き不透明な時代だからこそ、生徒たちに身に付けてもらいたい力、それは、何事にも主体的に取り組める力です。この「何事にも」が重要で、「興味のあることにだけ」では人生が大きく変わってきてしまいます。

本来、子どもは、幼児期から自分の興味あること、好きなことには、主体的に取り組めます。その様子を見て大人たちが「この子は主体的な赤ちゃんだ」とは言うことはまずいでしょ。主体的であることが当たり前だからです。しかし、年齢を重ねるにつれて、「主体的であって欲しい」と言われる回数が増えます。この真の意味は「興味や関心のないこと、嫌いなことにも、主体的に取り組める力をもっていて欲しい」ということなのではないでしょうか。

生徒たちは、本来、主体的です。でも、放っておいたら、その対象は興味のあることだけに限られていきます。ここに、学校、家庭、地域の責任が出てくるわけですね。あいさつ運動もそうです。運動として取り組む中で、生徒たちは主体的に心からの挨拶が自然にできるようになり、あの気持ちの良さを実感すれば、ずっと主体的に挨拶のできる大人に育ちます。始めるきっかけ作りが大人の責任です。学校での教科の学習、家庭のしつけ、どれも放って

おいたら生徒たちが主体的に取り組んでくれるわけではないので、意図的に行うのです。

これから生徒たちを待ち受けている社会では、興味のあることや好きなことだけをやっていたらいいわけではありません。どんなに嫌なことでも、困難なことでも、それをやらなければならない時には、自分自身を主体的に取り組める存在に調整する力が必要です。主体的になれば、創意・工夫も生まれます。効率もよくなります。そして、きっと成功できます。

今、身に付けなければならない力、それは、「何事にも主体的に取り組めるように自分を調整する力」です。そのためには、教師も、保護者の皆様も、生徒たちに機会を与え、十分に待ってあげる「ゆとり」と「我慢する力」を持たなければならないと思います。「〇〇しなさい」や「〇〇ですよ。分かりましたか」では、主体性は育ちません。生徒たちの心に主体性が生まれる環境を創ることが大人の役割です。

本校では、これからの未来を生き抜く力を付けるために、主体的に行動できる生徒の育成を目指して、生徒たち自らが学ぶ場を多く設定していきます。そのためには、まず教師自らが何事にも前向きに、主体的に学び、挑戦し続けることだと考えています。保護者、地域の皆さまと一緒に、生徒たちの心に主体性が生まれる環境をつくっていきたくて考えておりますので、ご支援、ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

「凡事徹底」

「自他共栄」

「文武両道」